

# 田植後の保温的水管理

高品質・良食味米生産のためには、初期生育を促進し、良質茎を早期に確保することが重要ですので、田植後の水管理を徹底しましょう。

## 田植え後の水管理のイメージ

田植え

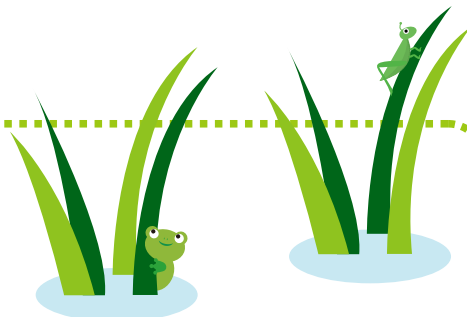
活着

3～4cmのやや深水  
(保温的水管理)

2～3cmの浅水管理

低温・強風による植え傷みを防ぐ

分けつの早期発生を促す



## 田植後活着するまでは保温的水管理

田植後活着するまで（通常は新根が3～5本発生するまでの7～10日くらい）は3～4cmの水深で、低温や風による植え傷みを回避しましょう。水温、気温が高いほど、発根、活着が早いので、漏水を防止し、水温の上昇に努めましょう。

## 活着後はやや浅水管理

活着後は2～3cmの水深で地温の上昇を図り、分けつの早期発生を促しましょう。

## ❗ ワキの発生に注意

ワキは根を傷めるため、夜間落水等を行い、ガス抜きをしましょう。

水田に足を踏みこんだ時に気泡の発生が多いと稲の生育が劣ります。

